

インターネットを活用した情報活用能力の育成

～身近なテーマについての生徒のレポート～

上柴中学校

1 単元名 インターネットで情報をみつけよう（技術・家庭科）

2 単元の目標

様々なメディアを通して得られる情報の中からコンピュータを使って目的とする情報を収集する。

身近な事柄をWebページで検索し、得られた情報の中から正しいと考える情報を選択する。自分が正しいと思える情報を参考に結果をレポート形式でまとめる。

3 指導計画・実践の概要

テーマの設定

テーマ 「過去に人類が月にいったのは本当か」について

自分がこれまで得られた情報の中から本当に正しい情報を予想する。

情報検索

月に行っていない（いっている）という根拠について検索する。

< 検索キーワードを考える >

世界中のWebページを検索する。

情報収集

NASAをはじめとするWebページを検索（文字・画像・動画等）を収集保存する。

自分が正しいと思える情報の根拠について絞る。

情報発信

得られた情報を基に自分なりの考えをまとめ、プリントアウトする。

情報の共有

他の生徒の考えと自分の考えを交換する。

4 テーマの設定の意図

本校の情報教育の目標に「多様な情報機器を活用した主体的な学習活動の展開」があり、日常の授業でも目標達成のために、多くの場面でコンピュータを活用している。本テーマに関するWebページは数千件以上存在し、その情報量は想像を超えるものがあり、世界中でこの件に関して様々な考えの下に情報発信がされていることを、生徒に気づかせる必要がある。

5 生徒の発表レポート

人類は本当に月に行ったのか

私は人類は月に行ったと思います。インターネットで調べたら、「旗はなびく」のは、垂直にたてた旗を回せば旗はなびくという説明があり、ほかにもいろいろと、「月にCのマークがある」などの疑問に、科学的に答えていたので行ったと思います



アポロ11号は月に行っていないと思います。根拠はインターネットで調べてみて、嘘だという意見が多かったからです。その意見を読んで、納得のいくものがとてもたくさんありました。風が吹く訳でもないのに、国旗がなびいていたり、映像にピアノ線のようなものが映っていたりと、謎なところがとても多いです。事実、私が宇宙に行ったわけではないので、絶対に行っていないと言い切れません。けれど、アポロ11号の月面着陸について調べられて、さらに興味がわいてきました。月面着陸事実なのか、それとも嘘なのか、明らかにしていきたいです。

アポロ疑惑の映像には、確かに『本当に月へ行ったのか』と疑ってしまうものばかりでした。大気の無い月面で何故旗がなびいていたのか、フラッシュ撮影はしていないのに顔面シールドに光が当たっていたなどがありました。他にも、スロー撮影で無重力を演出したのではないかという疑いもあります。

しかし私は、この意見に反対です。今更このような疑惑が出るのは少しおかしいと思います。人類は本当に月へ行ったと信じます。



6 成果

インターネットは様々な情報が手軽に手に入る一方、情報の中には信憑性の高いものもあれば、全く信用できないものもあることが実際に調べてみてわかったようである。

今回のテーマは世界中で話題にされている問題であり、生徒が興味関心をもって意欲的に情報収集をし、自分なりの考えをまとめることができた。